

初任科生の入校から卒業まで

愛知県消防学校では、県内市町村消防本部の新規採用職員が現場で活動できる消防士となるため、約6ヶ月間、初任科生として入校し教育訓練を受けます。

ここでは、初任科生の入校から卒業までを紹介します。



入校式

消防士として採用されても、実はまだ何一つできません。

緊張感いっぱい、これから6ヶ月間厳しい訓練、厳しい環境で共に過ごす仲間、そして「教官」と対面します。



体力測定

現場で活動できる消防士となるため、基礎体力の把握、向上を目指し、入校期間中に反復横飛び、懸垂、20mシャトルラン等の測定を2回行います。



授業

1日7時限の授業を受けます。教室での講義や、さまざまな実技訓練を行います。必要に応じて、他の施設へ出かけて行って訓練をします。



水難救助訓練



クロスカントリー

体力づくりの一環として、消防学校敷地内の森林でクロスカントリーを行います。



行事・その他(BFC一日入校)

年に一度、夏休みを利用して、県内の小中学生が少年・少女消防クラブ員として一日入校します。このとき初任科生がクラブ員の教官となり、各種訓練をわかりやすく楽しく講義します。



視察研修

一泊二日の視察研修を行います。消防関係施設にとどまらず、社会人として幅広く知識や見識を深めるために行うものです。



消防活動発表会

学校生活6ヶ月で習得した各種訓練技術の成果を披露します。



卒業式

学生たちは一人前の消防士として各々、消防本部に戻っていきます。

